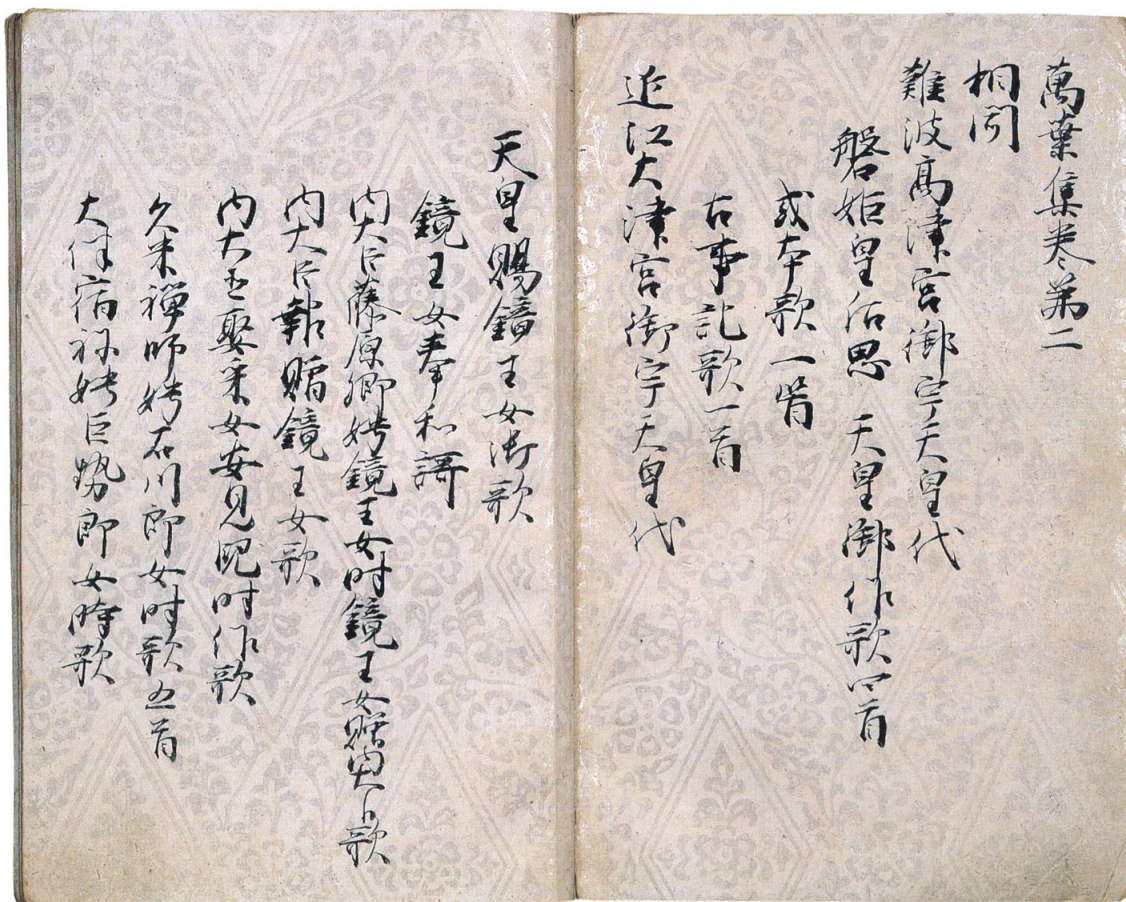




表紙



帖首

萬葉集卷第二

相同

難波高津宮御宇天皇代

磐姫皇孫思 天皇御作歌一首

或本歌一首

古事記歌一首

近江大津宮御宇天皇代

天皇賜鏡王女御歌

鏡王女奉和詩

内大臣藤原御姊鏡王女時鏡王女贈出下歌

内大臣額贈鏡王女歌

内大臣娶妻女安見况時作歌

久米禪師姊石川即女時歌一首

大伴宿禰姊巨勢即女時歌

鏡王女奉和出歌二首

秋山之樹下 隱幽水乃若許 古臺向山合 遠矣  
あまやまたのけしきくればとくみけの  
われさうあまのあまのけしきくれば

内大臣藤原御時鏡王女時鏡王女贈内大臣  
一首

玉匣霞平女美用而行若君若女雖有告

名之惜蒙

しまくしけはのちをやすみあけしけ  
きりなはけあはれわあをしし

内大臣藤原御時贈鏡王女一首

玉匣乃見因山之狭名為依不深若遠今

有勝麻之目

たましくしけあしきわまたねる

部分

短歌二首

久堅之天所知流君坡今日月色不知意渡鴨  
ひたりののあまのしきりあまのあまのしきり  
むすしきりしきりしきりしきりしきりしきり

植女乃池之堤之隱沼乃古方予不知舍人若連感  
うぢやすののけけけけけけけけけけけけけけけけ  
ゆけけけけけけけけけけけけけけけけけけけけけ

或書及三一首

尖澤之社社余三輪須惠惟禱祈我王若馬  
日所知奴

あまのしきりしきりしきりしきりしきりしきり  
あまのしきりしきりしきりしきりしきりしきり

右一首於祭皇林日檢限女王怨泣澤社

社之号也案日本紀之十年丙申林七日

部分

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

## 宮廷文化の華

三の丸尚蔵館展覧会図録 No.1

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 大塚巧藝社

デザイン 大石一義

発行 宮内庁

平成五年十月二十五日発行

©1993, Museum of the Imperial Collections